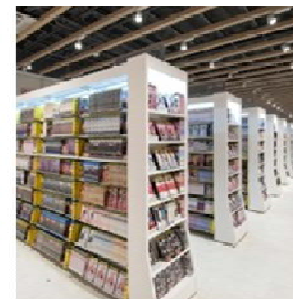
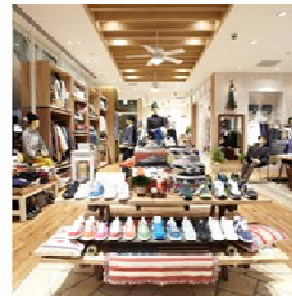




株式会社ゲオホールディングス
(東証一部：2681)
2017年5月

2017年3月期 決算説明会資料

豊かで 楽しい 日常の暮らしを提供する



目次

2017年3月期 決算概要

P.2

2017年3月期 トピックス

P.15

2018年3月期 業績予想

P.19

今後の取組み

P.21

配当推移・株主優待

P.26

Appendix 参考数値

P.29

Appendix 会社概要

P.34





2017年3月期 決算概要



2017年3月期 業績概要

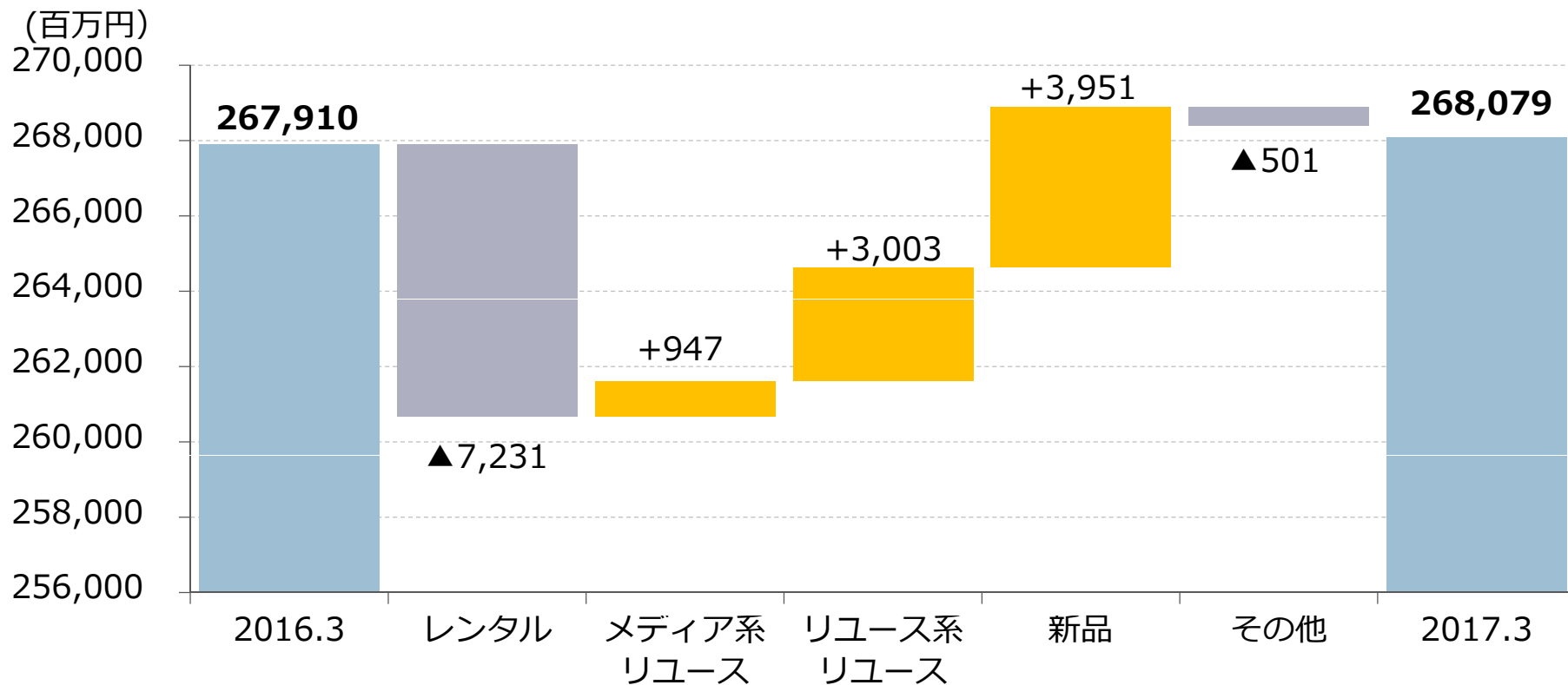
- 連結業績は微増収減益で、通期業績予想に対する営業利益の達成度は78.7%。
- レンタル売上が軟調に推移した一方、リユース商材と新品商材の売上が寄与したことにより売上高は前期比100.1%となり、売上構成が昨年と比して取り代わったことにより売上総利益が減少したほか、リユース系店舗の新規出店コストの影響などで、営業利益は前期比52.3%となりました。

(百万円)	2016/3 通期 実績 (売上比)	2017/3 通期 実績 (売上比)	増 減 (前期比)	2017/3 通期 予想 (達成度)
売上高	267,910	268,079	+168 100.1%	277,000 96.8%
売上総利益	116,112 43.3%	111,996 41.8%	▲4,115 96.5%	118,000 94.9%
販管費	99,559 37.2%	103,334 38.5%	+3,774 103.8%	107,000 96.6%
営業利益	16,552 6.2%	8,662 3.2%	▲7,890 52.3%	11,000 78.7%
経常利益	17,824 6.7%	9,040 3.4%	▲8,783 50.7%	12,000 75.3%
当期純利益	10,563 3.9%	4,223 1.6%	▲6,340 40.0%	6,000 70.4%



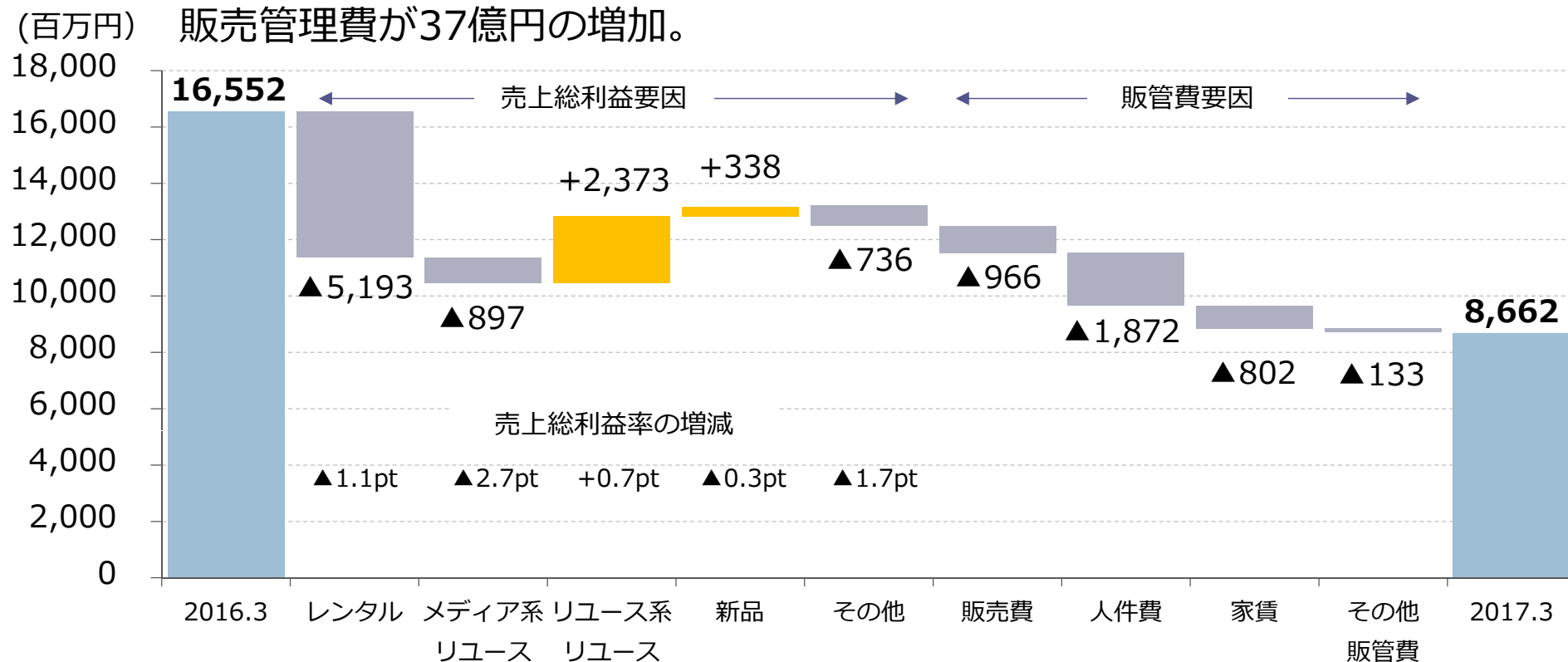
2017年3月期 売上高前年同期比増減

- リオ五輪などの影響でレンタル売上は72億円の減少（前期比90.8%）。
- 継続的に堅調なメディア系リユース商材売上(主に中古スマートフォン)が9億円の増加（前期比101.9%）。
- 台風や残暑の影響下でも堅調であったリユース系リユース商材売上は30億円の増加（前期比108.2%）。
- 年末商戦の新品商材売上(主にゲーム機・ゲームソフト)が39億円の増加（前期比105.5%）。



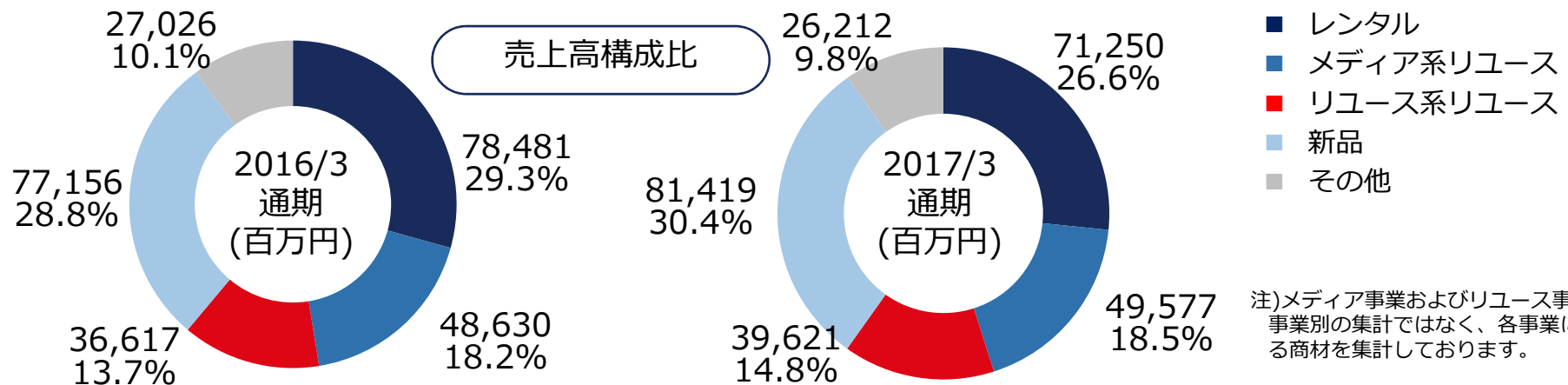
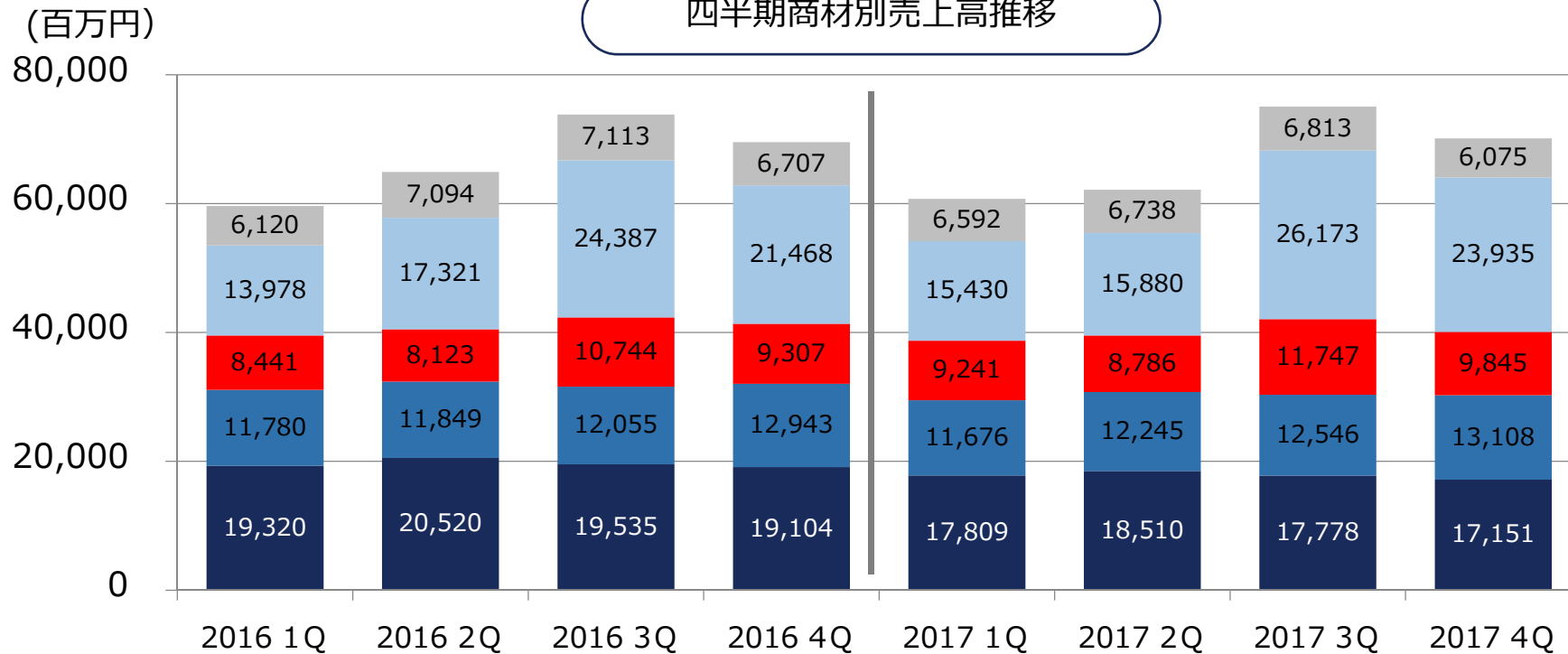
2017年3月期 営業利益前年同期比増減

- レンタル売上の減少および売上総利益率1.1ポイントの減少により売上総利益が51億円の減少。
- メディア系リユース商材の売上が増加したものの、中古ゲームおよび中古スマートフォンの売上総利益率が減少したことにより売上総利益が8億円の減少。
- リユース系リユース商材の売上増加および売上総利益率0.7ポイントの増加により売上総利益が23億円の増加。
- 積極的な販促活動および出店に伴う人件費や家賃の増加などにより販売管理費が37億円の増加。



2017年3月期 商材別売上高

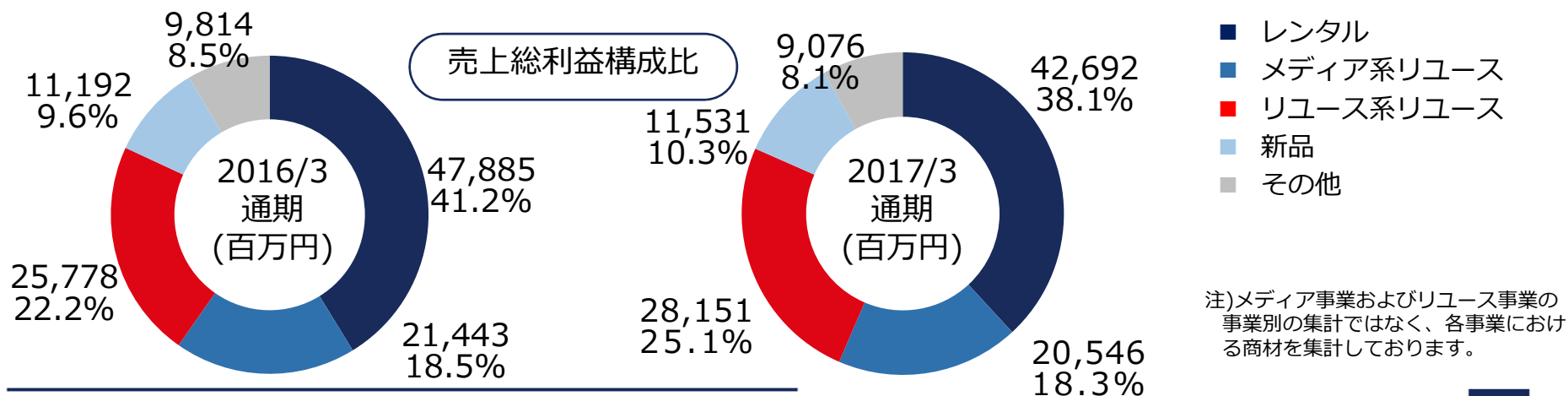
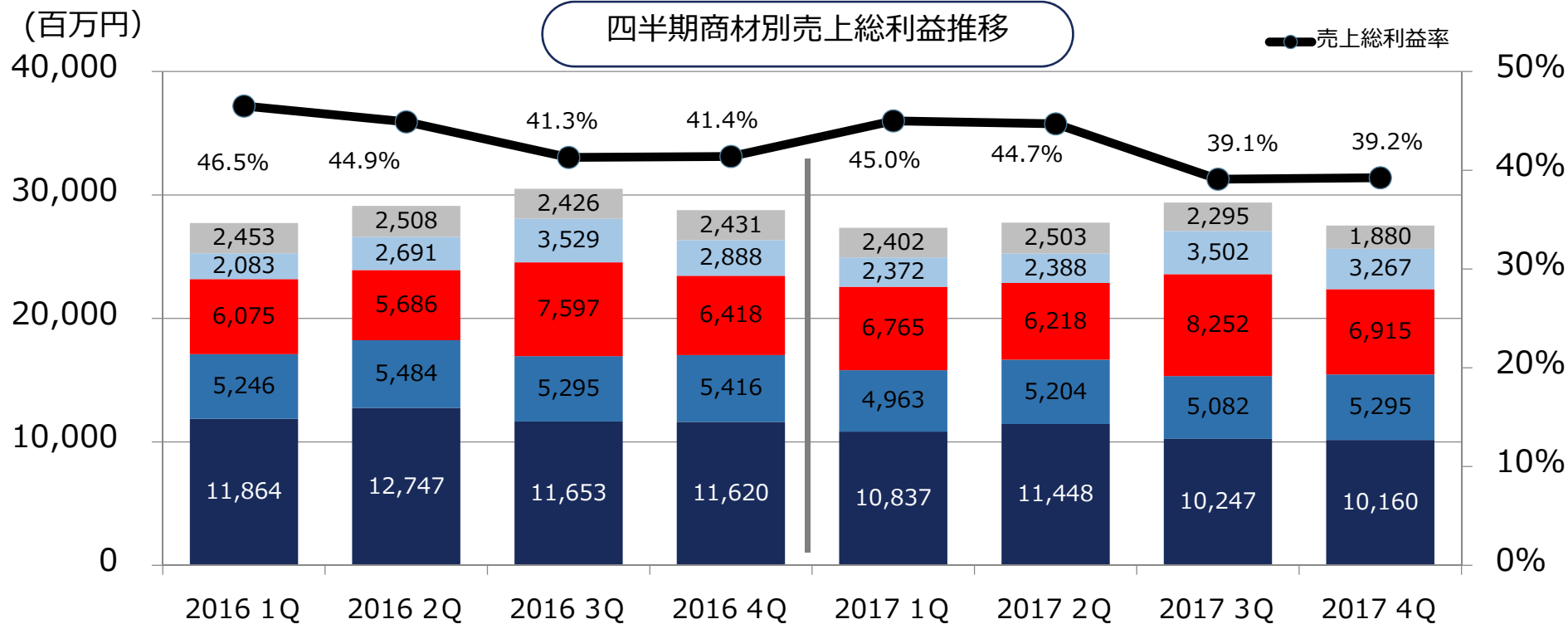
四半期商材別売上高推移



注)メディア事業およびリユース事業の事業別の集計ではなく、各事業における商材を集計しております。



2017年3月期 商材別売上総利益

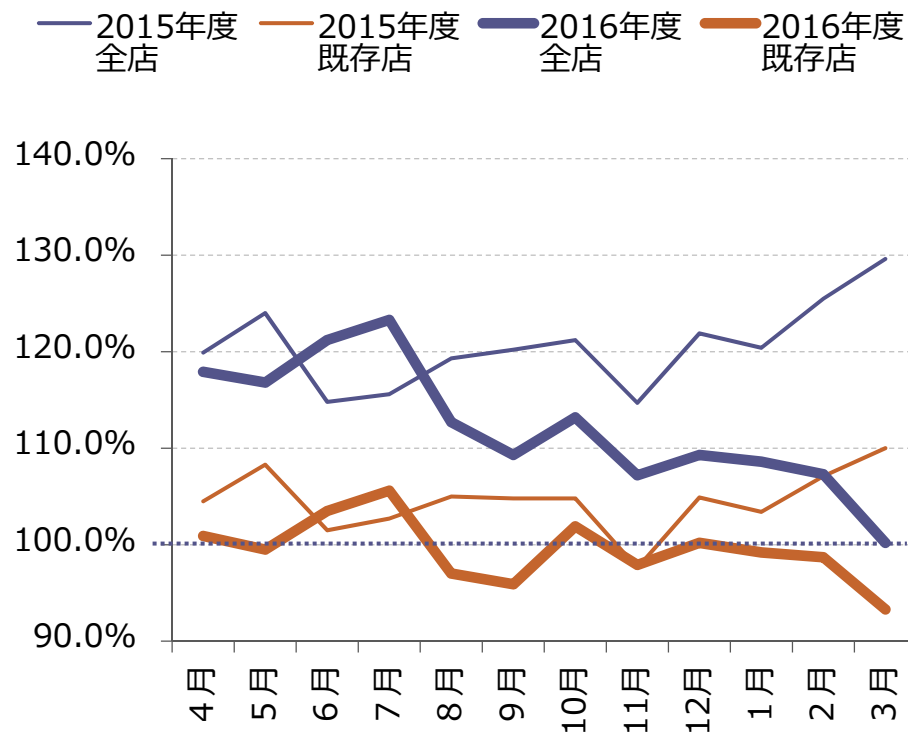
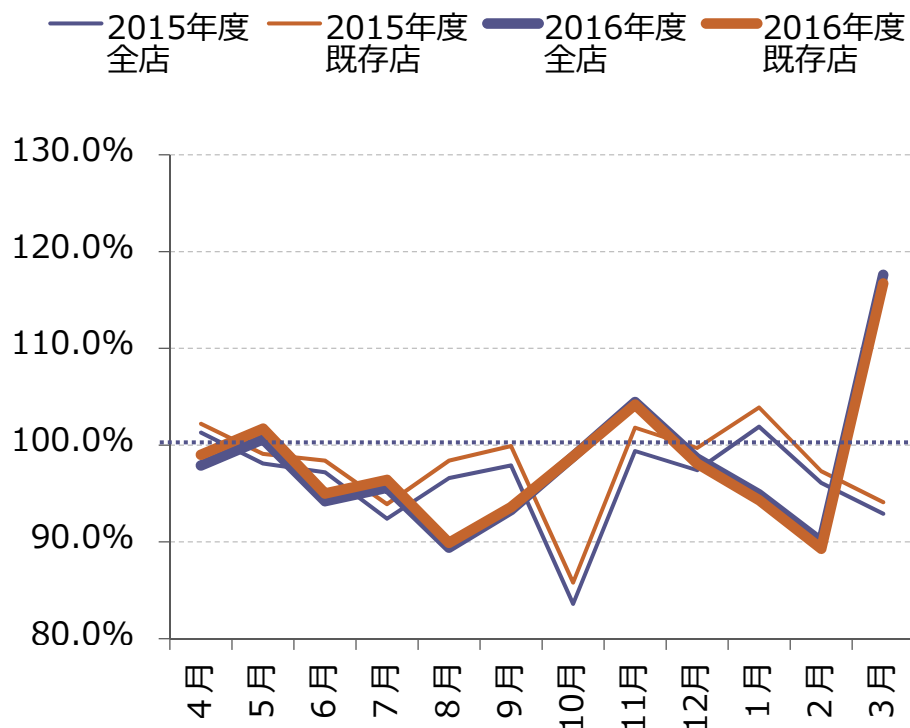


2017年3月期 売上高前年同期比月推移

- メディア系店舗は、8月のリオ五輪の影響が11月には回復し、年末商戦は物販が堅調だったものの、レンタルが苦戦したため、前年割れを継続しました。3月は新型ゲーム機・新作ゲームソフトにより前年売上を上回りました。
- リユース系店舗は、8月・9月の台風・残暑の影響が10月に回復したものの、衣料品の買取不足の影響で前年を下回る推移で継続しました。

メディア系店舗（直営店）

リユース系店舗（直営店）



直近10年間の業績推移

2008年6月に「セカンドストリート」を展開する(株)フォー・ユーを連結子会社化。リユース系リユースが95億円の増収。

積極的な出店をするものの、五輪以降の客数が戻らず、レンタル売上は軟調し、出店費用を吸収できず、前年比23億円の減益。

「アナと雪の女王」「妖怪ウォッチ」などのヒット作品により売上高は過去最高の2703億円となったものの、店舗増加に伴うコスト増加により微増益。

- その他
- リユース (リユース系)
- リユース (メディア系)
- 新品
- レンタル
- 営業利益

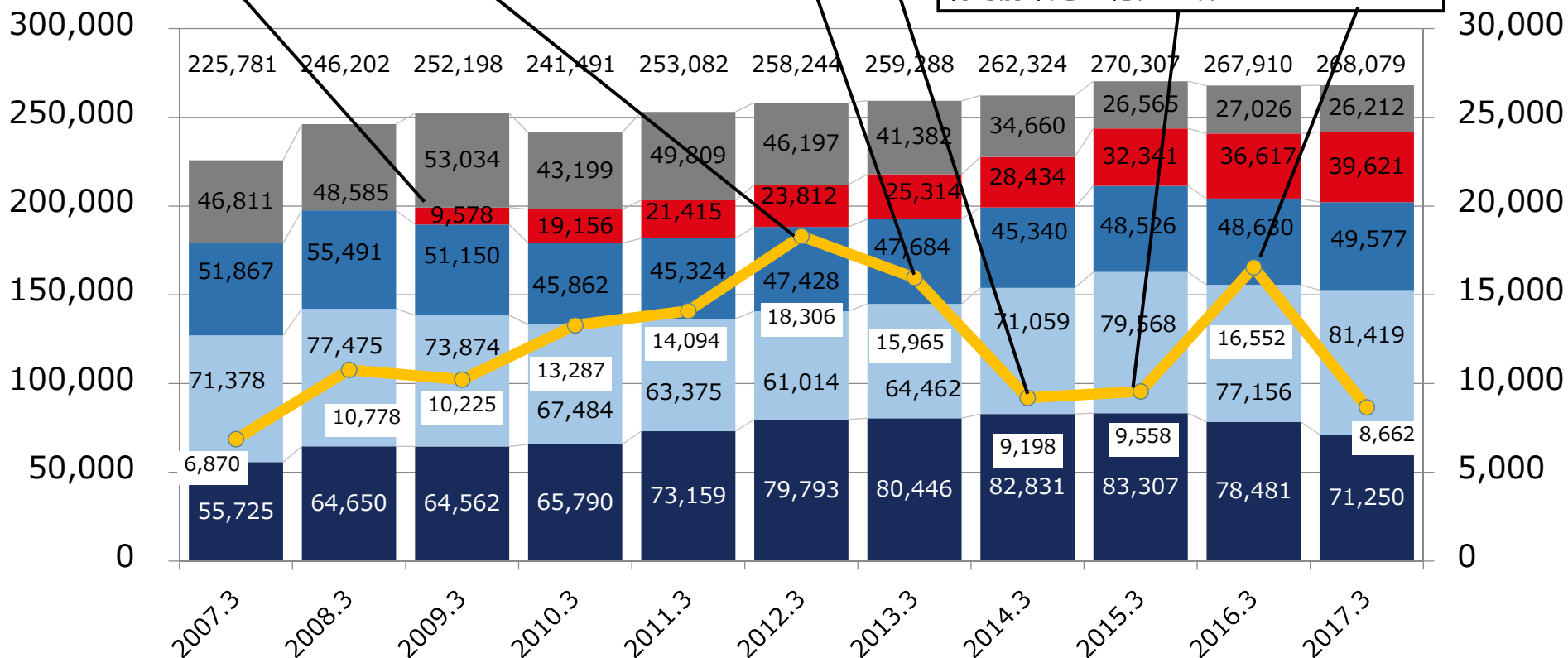
2012年3月期上期、売上総利益率の高いレンタルが好調により、183億円の過去最高益。

2013年11月に連結子会社化した(株)ファミリーブックの店舗に対するリニューアルコストにより前年比67億円の減益。

2014年下旬に実施した値上の反動でレンタル売上は減収した一方、リユース(メディア系・リユース系)の売上総利益率の改善、節電施策・店舗コストの抑制で前年比69億円の増益。

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)



2017年3月期 貸借対照表

(百万円)	2016年 3月31日	2017年 3月31日	当期増減	主な増減要因
流動資産	74,015	76,081	+2,065	
うち 現金及び預金	37,683	34,087	▲3,595	
うち 商品	24,894	25,773	+879	新品ゲーム機、リユース服飾品など増加
固定資産	56,192	54,687	▲1,505	
有形固定資産	33,010	31,097	▲1,913	レンタル用資産などの減価償却に伴う減少
無形固定資産	1,865	2,049	+184	
投資その他資産	21,315	21,539	+224	非連結子会社の設立
資産合計	130,207	130,768	+560	
流動負債	37,731	33,980	▲3,751	
うち 買掛金	12,631	16,322	+3,690	新品ゲーム機・新品ゲームソフトの仕入に伴う増加
うち 1年内返済予定の長期借入金	8,333	6,072	▲2,261	
固定負債	27,514	29,076	+1,561	
うち 長期借入金	19,509	20,437	+927	
負債合計	65,246	63,056	▲2,189	
純資産合計	64,961	67,711	+2,749	
負債純資産合計	130,207	130,768	+560	



2017年3月期 キャッシュフロー

(百万円)	2016年 3月31日	2017年 3月31日	当期増減	主な増減要因
うち減価償却費	5,051	5,303	+251	
うちレンタル用資産減価償却費	10,377	8,648	▲1,728	レンタル商材の償却
うち減損損失	1,319	1,862	+543	店舗等における減損損失
うちレンタル用資産取得による支出	▲9,320	▲7,857	+1,462	レンタル商材の取得
営業C F 小計	21,105	17,173	▲3,932	減益に伴う減額
うち法人税等の支払額	▲1,107	▲8,208	▲7,101	前期増益に伴う納税額の増額
営業C F	19,807	8,786	▲11,021	
うち有形固定資産の取得による支出	▲5,819	▲5,412	+406	出店に伴う設備投資
うち無形固定資産の取得による支出	▲1,054	▲971	+83	
投資C F	▲4,209	▲8,682	▲4,472	有価証券の取得21億円、非連結子会社への貸付11億円の実施
うち短期借入による収入	9,000	9,900	+900	運転資金目的の借入
うち短期借入金の返済による支出	▲9,000	▲9,900	▲900	運転資金目的の借入の返済
うち長期借入による収入	6,000	7,000	+1,000	設備投資目的の借入
うち長期借入金の返済による支出	▲7,097	▲8,333	▲1,236	設備投資目的の借入の返済
うち配当金の支払額	▲1,678	▲1,636	42	
財務C F	▲10,125	▲3,182	6,942	
現金及び現金同等物の増減額	5,472	▲3,078	▲8,550	
現金及び現金同等物の期末残高	39,386	36,308	▲3,078	
フリーキャッシュ・フロー	15,597	104	▲15,493	



2017年3月期 出店実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
メディア系店舗	8店舗	10店舗	14店舗	3店舗	計35店舗
リユース系店舗	18店舗	18店舗	12店舗	10店舗	計58店舗
モバイル系 単独店舗	3店舗	2店舗	0店舗	0店舗	計5店舗
アミューズ系店舗	1店舗	1店舗	0店舗	0店舗	計2店舗
合計	計30店舗	計31店舗	計26店舗	計13店舗	計100店舗

注)移転リニューアル出店を含む直営・FC・代理店の出店実績



2017年3月期 店舗数・流通拠点

直営店舗1,579店 総店舗1,805店

2017年3月末現在



直1,046 (+16,-13)
総1,223 (+35,-33)



直506※1 (+55,-12)
総555※1 (+58,-13)



直16(+5,-0)
総16(+5,-0)
外数 併設店 直61(+17,-0)
総61(+17,-0)



直11(+2,-1)
総11(+2,-1)

() 内は、前連結会計年度末との増減数

※1 スーパーセカンドストリート・ジャンブルストア等を含む

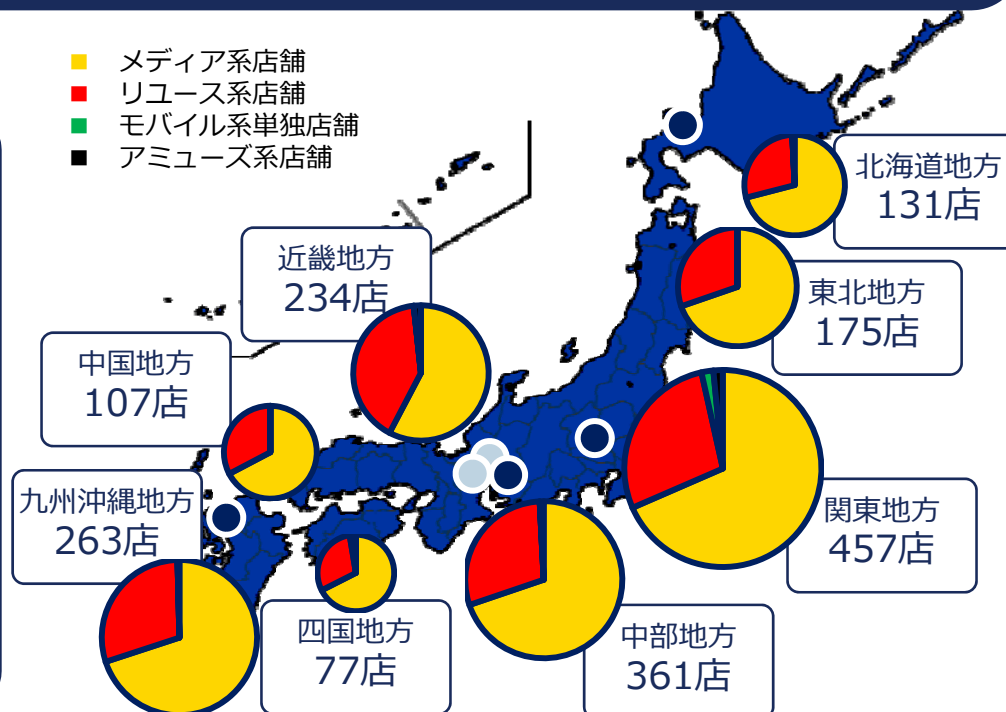
●商品循環型流通センター4拠点

- 札幌流通センター
- 高崎流通センター
- 岩倉流通センター
- 福岡流通センター

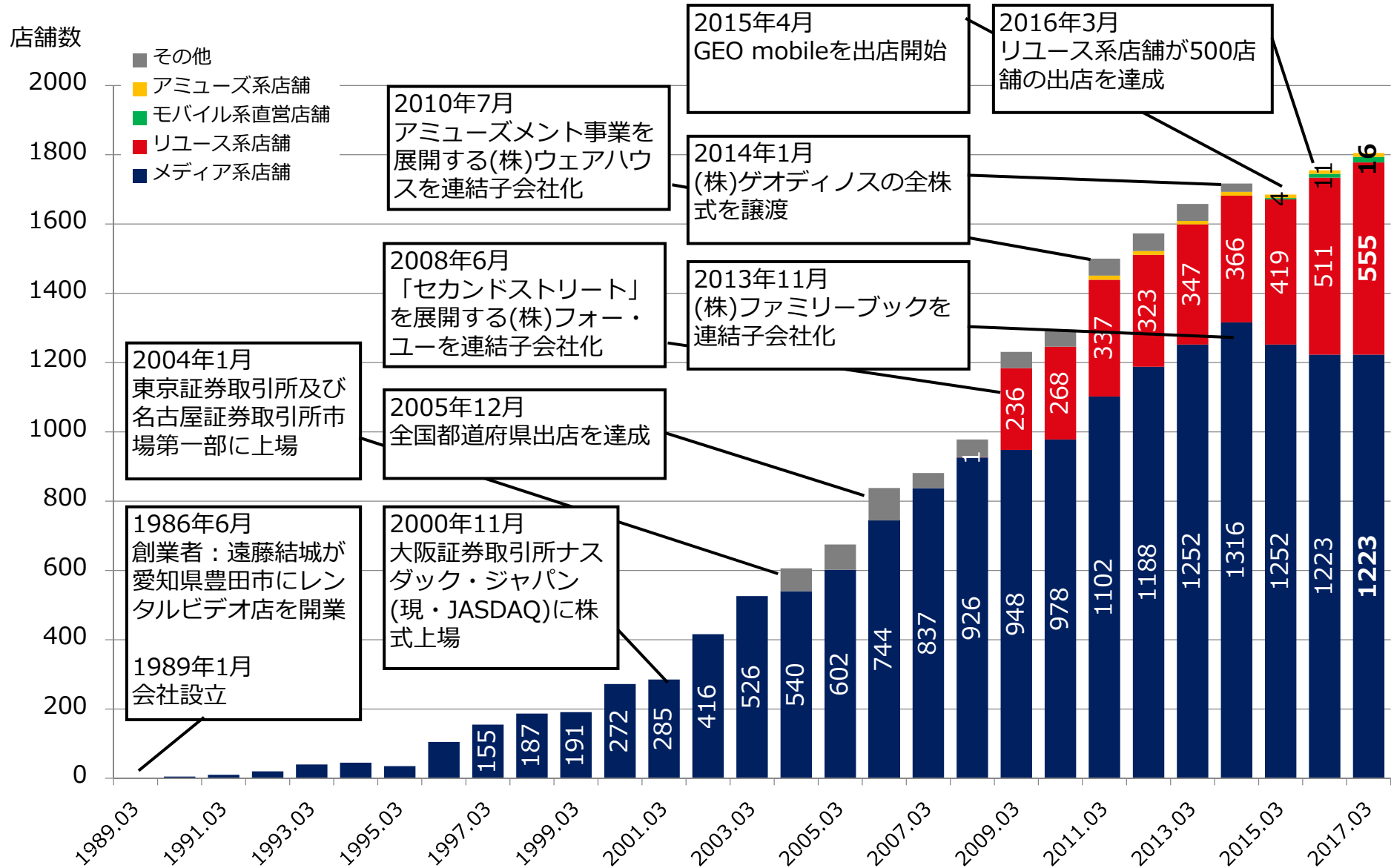
●仕入分配型流通センター2拠点

- 犬山流通センター
- 春日井流通センター

- メディア系店舗
- リユース系店舗
- モバイル系単独店舗
- アミューズ系店舗



店舗数推移



年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017.03
総店舗数	606	675	838	881	978	1231	1295	1500	1573	1658	1717	1685	1755	1805





2017年3月期 トピックス



トピックス メディア事業

■ 「セルフレジ」の増設 500台から1513台に

レジ業務の効率化とお客様の利便性向上を目的に、自社開発した「セルフレジ」を増設しました（2017年3月時点で747店舗・1513台の設置）。レンタルご利用のお客様の約4割がセルフレジをご利用いただき、未導入店舗と比して、レンタル売上1.3%増の導入効果がありました。



■ 先行レンタル・イベントなどの実施

オリジナルドラマ「龍が如く 魂の詩。」、TVドラマ「咲-Saki-」などの先行レンタルを実施し、「ザ・ハロウ/侵蝕」ではレンタル開始2週間の貸出率が80%を超え、同ジャンル作品を牽引しました（7・8月の売上前年比103%）。

その他、「巨大コントローラー 全国キャラバン」「テッド 1日店長全国巡業」、お笑い芸人の麒麟・川島明を店内ナレーションに起用した「イイ声コーナー」などを実施しました。



トピックス リユース事業

■ 商品調達（買取）の強化

リユース売上拡大に伴う商品調達（買取）を強化するため、「買取」に特化した「本山買取専門店（名古屋市）」「戸越銀座買取専門店（東京都品川区）」を出店しました。

また、「宅配買取（WEB買取）」の買取拠点（愛知）についても北海道・熊本の2拠点を増設し、「出張買取」に関しては買取チームを増強して、出張買取の取扱いエリアを拡大しました。



■ ラグジュアリーブランド衣料の買取・販売を開始

ラグジュアリーブランドの『服飾品（バッグやアクセサリー、時計など）』よりも真贋基準が難しいラグジュアリーブランド『衣料』の取扱いを開始しました。ブランド服飾品の取扱額は過去1年間で42%増であり、ブランド衣料が加わることでリユース事業の売上増加を見込んでいます。



トピックス モバイル事業

■ モバイルサービスの提供を拡充

スマートフォン（スマホ）の破損・水没・故障などに備える「ゲオ携帯安心保証」、総務省認定の「iPhone修理」のほか、「OCN」「UQモバイル」などのSIMに加えて「楽天モバイル」のSIMを取扱い、モバイルサービスの提供を拡充しました。



■ 「ゲオモバイルオンライン」の開設

スマホ通販サイト「ゲオモバイルオンライン」を開設しました。このサイトは実店舗で販売している中古スマホやタブレットを在庫連携してオンライン上でも併売するほか、買取価格がすぐにわかる「買取シミュレーション」機能、現在利用しているモバイルサービスと格安スマホの料金を比較できる「料金シミュレーション」機能があり、買取代金を確認しながら格安スマホに乗換検討・買取・販売ができるサイトです。





2018年3月期 業績予想



2018年3月期 業績予想（通期）

- 通期業績予想は前期並みで、売上高は微増収、営業利益は微減益。
- レンタル売上の減収をリユース商材売上が補うことにより売上高は前期比101.8%となりますが、リユース系店舗の新規出店コストの影響で、前期に比して販管費が増額し、営業利益は前年比98.1%となる見通しです。

(百万円)	2017/3 通期 実績		2018/3 2Q累計 予想		2018/3 通期 予想		増減	
	(売上比)		(売上比)		(売上比)		(前期比)	
売上高	268,079		127,000		273,000		+4,920	101.8%
売上総利益	111,996	41.8%	57,000	44.9%	118,000	43.2%	+6,003	105.4%
販管費	103,334	38.5%	53,700	42.3%	109,500	40.1%	+6,165	106.0%
営業利益	8,662	3.2%	3,300	2.6%	8,500	3.1%	▲162	98.1%
経常利益	9,040	3.4%	3,500	2.8%	9,000	3.3%	▲40	99.5%
当期純利益	4,223	1.6%	1,600	1.3%	4,500	1.6%	+276	106.6%





今後の取組み



今後の取組み メディア事業

□ メディア事業の収益向上

サービス水準を維持したローコストオペレーションを徹底して、収益向上に取り組めます。費用がかかっても必要などころにはしっかりと対応を行い、例えば、販促ツール「ゲオアプリ」を活用した顧客コミュニケーションや、先行レンタルの実施、アニメ「君の名は。」特製スチールブック®などの特典販売を実施するなど、付加価値の高い商品・サービスを提供します。



© 2016「君の名は。」制作委員会

□ 新型ゲーム機タイトルが続々発売

新型ゲーム機「Nintendo Switch」のタイトル「マリオカート8 デラックス」「ARMS」やPS4・3DS用ゲームソフト「ドラゴンクエストXI 過ぎ去りし時を求めて」などが上期の発売ですが、その他主力新作ゲームソフトの発売は下期に集中する予定です。

前期においても下期に主力新作ゲームソフトの販売が集中したことから、中古ゲームソフトの業績については、当期上期に寄与する見通しです。



© 2017 Nintendo



今後の取組み リユース事業

□ お取り寄せサービスの実施

ECサイトで掲載している他店舗の商品をお近くの店舗にお取り寄せするサービスを実施します。ECサイトだけでは表現しにくい感触・質感・色合い・状態などの確認で生じるお客様の「実物をみたい」「触ってみたい」「試着してみたい」などのご要望に対して、お近くの店舗にお取り寄せすることで、安心して購入できるサービスを提供します。（サービス開始予定は今秋）



□ 出張買取の買取チームを増強して 出張買取の取扱いエリアを拡大

「セカンドストリート」では買取方法として「出張買取」をご用意しています。「出張買取」では、お一人で運べない大型の家電・家具を対象にした買取で、1点からでも無料でご自宅に訪問するサービスです。

現在の出張買取チームからさらに増強して、出張買取の取扱いエリアを拡大します。

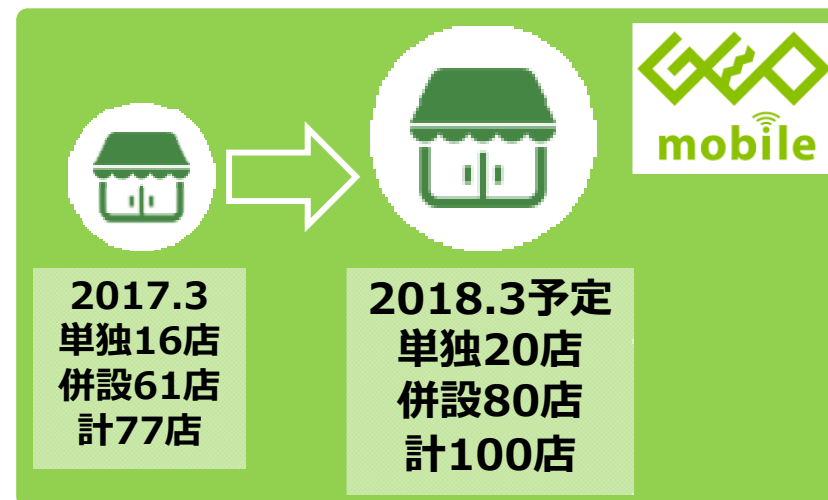


今後の取組み モバイル事業

□ 「ゲオモバイル」の拡大 100店に

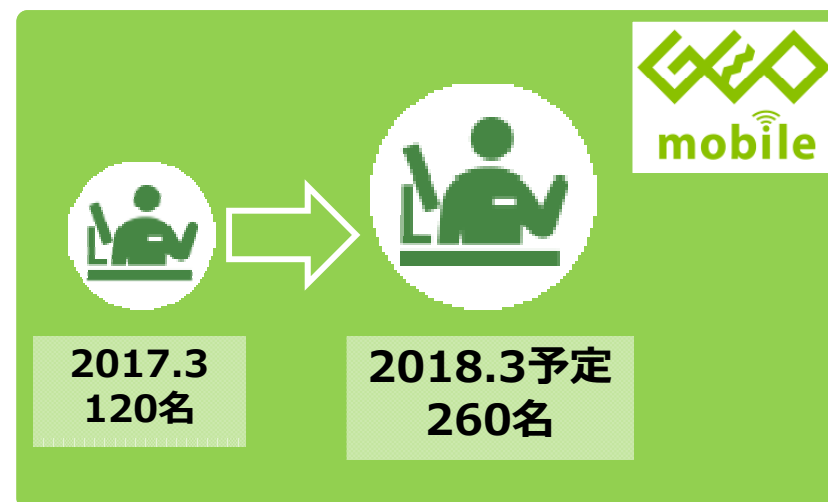
モバイル端末の「買取・販売」「格安SIMの販売」は、全国のゲオショップでも行っておりますが、「SIMの即日開通」「専門スタッフの常駐」「修理」といった付加価値の高いサービスはモバイルショップ「ゲオモバイル」で行っています。

この「ゲオモバイル」(2017年3月現在77店)を、2018年3月までに100店に拡大し、「ゲオモバイル」だからできるサポートを拡充していきます。



□ 専門スタッフの増強 260名に

モバイルショップ「ゲオモバイル」には専門スタッフを配備しています。この専門スタッフ「モバイルアドバイザー」(2017年3月現在120名)を2018年3月までに260名に育成し、サポート体制をさらに強化していきます。



今後の取組 オンラインサービス



□ E C化の継続的な強化

当グループでは直営店舗運営の強みを活かしつつ、インターネットを活用した取組みをしています。E C化につきまして、各事業ともに、実店舗の商品をE Cサイトで販売する併売店舗を増やすと共に、掲載点数も増やして、倉庫利用を最小限にしながら販売チャネルを広げます。

特にリユース事業におけるE C化につきましては、リユースショップ全店が併売店舗であり、リユース売上高が増加している中、E C化率9%の目標水準を継続的に達成していきます。

メディアE C

掲載点数・併売店舗数



2017.3
138千点
26店



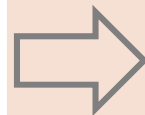
2018.3予定
250千点
100店

リユースE C

掲載点数・併売店舗数・E C化率



2017.3
260千点
全店
8.5%



2018.3予定
350千点
全店
9.0%

モバイルE C

掲載点数・併売店舗数・E C化率



2017.3
14千点
17店
4.5%



2018.3予定
50千点
100店
8.0%





配当推移・株主優待



配当推移

- 株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。



株主優待

- 当社グループでは、株主の皆様にご覧いただきたい、お客様としてよりご利用いただきたいという趣旨により、株主優待制度を導入しております。
(2017年3月期末時点の株主総数は69,458名、前期から12,170名の増加)

- 株主優待は、以下の①または②のいずれかを選択いただけます。
 - ① レンタル商品 優待期間中
全品50%割引 (他の割引との併用可)
 - ② リユース割引券
2,000円相当 (500円相当割引券4枚)

- 株主優待の対象となる株主は、
3月・9月末日現在の株主名簿に
記載された1単元(100株)以上を
保有している株主となっております。





Appendix 参考数值



2017年3月期 損益計算書 第4四半期

(百万円)	2016/3				2017/3			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
売上高 (前年同期比)	59,639	64,907	73,834	69,529	60,748 101.9%	62,159 95.8%	75,057 101.7%	70,114 100.8%
売上総利益 (前年同期比) (売上総利益率)	27,721 46.5%	29,116 44.9%	30,500 41.3%	28,773 41.4%	27,339 45.0%	27,761 44.7%	29,378 39.1%	27,517 39.2%
販管費 (前年同期比)	23,891	24,845	24,815	26,007	24,966 104.5%	25,993 104.6%	26,502 106.8%	25,872 99.5%
営業利益 (前年同期比)	3,830	4,271	5,685	2,765	2,372 61.9%	1,768 41.4%	2,876 50.6%	1,644 59.5%



2017年3月期 販管費の内訳

(百万円)	2016/3				2017/3				通期 実績 (前期比)
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	
販管費	23,891	24,845	24,815	26,007	24,966	25,993	26,502	25,872	103,334 (103.8%)
販売費	1,803	2,125	2,061	2,394	2,068	2,232	2,641	2,408	9,351 (111.5%)
広告宣伝費	483	716	605	925	525	690	872	739	2,828
販売促進費	159	167	189	213	330	315	477	398	1,521
その他	1,161	1,241	1,266	1,256	1,212	1,226	1,292	1,270	5,002
人件費	11,706	11,815	12,477	12,512	12,381	12,380	12,832	12,789	50,383 (103.9%)
その他諸経費	10,347	10,901	10,276	11,100	10,515	11,379	11,027	10,674	43,598 (102.3%)
水道光熱費	1,248	1,627	1,113	1,420	1,065	1,499	1,124	1,212	4,901
地代家賃	4,950	4,986	5,036	5,074	5,129	5,179	5,249	5,292	20,851
減価償却費	992	1,017	1,077	1,146	1,003	1,176	1,148	1,166	4,495
備品消耗品費	501	649	542	678	668	776	702	98	2,245
修繕費	421	377	234	392	161	340	290	392	1,185
その他	2,231	2,242	2,272	2,387	2,487	2,406	2,511	2,512	9,919
のれん償却額	33	3	0	0	0	0	0	0	0 (2.6%)



2017年3月期 商材別売上高

(百万円)	2016/3				2017/3				通期 実績 (前期比)
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	
売上高	59,639	64,907	73,834	69,529	60,748	62,159	75,057	70,114	268,079 (100.1%)
レンタル	19,320	20,520	19,535	19,104	17,809	18,510	17,778	17,151	71,250 (90.8%)
メディア系 リユース	11,780	11,849	12,055	12,943	11,676	12,245	12,546	13,108	49,577 (101.9%)
リユース系 リユース	8,441	8,123	10,744	9,307	9,241	8,786	11,747	9,845	39,621 (108.2%)
新品	13,978	17,321	24,387	21,468	15,430	15,880	26,173	23,935	81,419 (105.5%)
その他	6,120	7,094	7,113	6,707	6,592	6,738	6,813	6,075	26,212 (97.0%)

注)メディア事業およびリユース事業の事業別の集計ではなく、各事業における商材を集計しております。



2017年3月期 商材別売上総利益

(百万円)	2016/3				2017/3				通期 実績 (前期比)
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	
売上総利益 (売上総利益率)	27,721 46.5%	29,116 44.9%	30,500 41.3%	28,773 41.4%	27,339 45.0%	27,761 44.7%	29,378 39.1%	27,517 39.2%	111,996 41.8% (96.5%)
レンタル	11,864 61.4%	12,747 62.1%	11,653 59.7%	11,620 60.8%	10,837 60.9%	11,448 61.8%	10,247 57.6%	10,160 59.2%	42,692 59.9% (89.2%)
メディア系 リユース	5,246 44.5%	5,484 46.3%	5,295 43.9%	5,416 41.8%	4,963 42.5%	5,204 42.5%	5,082 40.5%	5,295 40.4%	20,546 41.4% (95.8%)
リユース系 リユース	6,075 72.0%	5,686 70.0%	7,597 70.7%	6,418 69.0%	6,765 73.2%	6,218 70.8%	8,252 70.2%	6,915 70.2%	28,151 71.1% (109.2%)
新品	2,083 14.9%	2,691 15.5%	3,529 14.5%	2,888 13.5%	2,372 15.4%	2,388 15.0%	3,502 13.4%	3,267 13.6%	11,531 14.2% (103.0%)
その他	2,453 40.1%	2,508 35.4%	2,426 34.1%	2,431 36.2%	2,402 36.4%	2,503 37.1%	2,295 33.7%	1,880 30.9%	9,076 34.6% (92.5%)

注)メディア事業およびリユース事業の事業別の集計ではなく、各事業における商材を集計しております。





Appendix 会社概要



会社概要

2017年3月末現在

社名	株式会社ジオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
会社設立	1989年（平成元年）1月
本社所在地	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号OMCビル TEL：052-350-5700
代表取締役	代表取締役社長 遠藤結蔵
資本金	88億96百万円
株式上場市場	東京証券取引所 第1部
従業員数	3,985名（グループ全体）



主要ビジネス紹介 店舗別の主な取扱商材

メディア


リユース

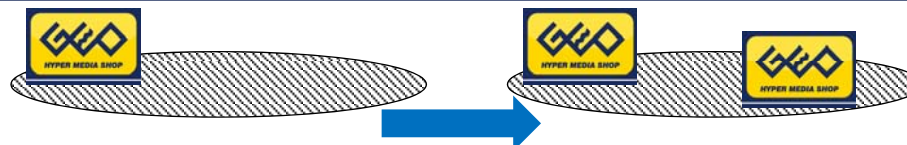

オンライン


	メディア			リユース			オンライン				
	レンタル	リユース 買取 /販売	新品 販売	リユース 買取 /販売	新品 販売	リユース 出張 買取	宅配 レンタル	配信	リユース 販売	新品 販売	リユース 宅配 買取
DVD(映像)	●	●	●	-	-	-	●	●	●	●	●
CD(音楽)	●	●	●	-	-	-	●	-	●	●	●
コミック	●	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-
ゲームハード	-	●	●	-	-	-	-	-	●	●	●
ゲームソフト	-	●	●	-	-	-	-	-	●	●	●
携帯端末	-	●	●	-	-	-	-	-	●	●	●
衣料・服飾雑貨	-	-	-	●	●	-	-	-	●	●	●
ブランド品	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	●
趣味用品	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●
家具	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-
家電	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-
ゴルフ用品	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	●

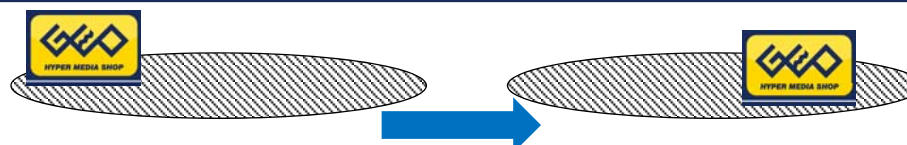


主要ビジネス紹介 直営店舗の強み

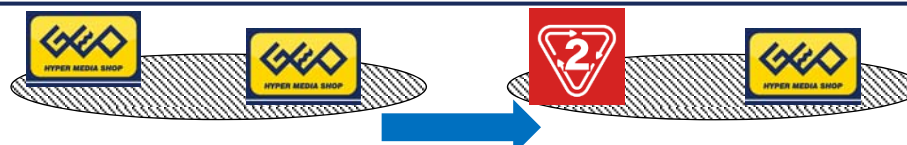
同一エリア内の開店



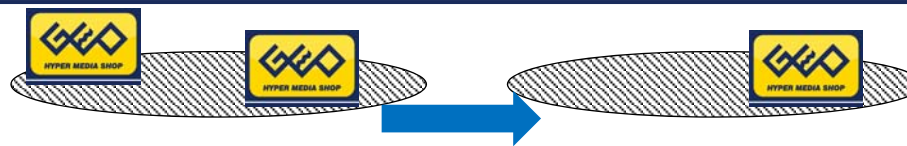
エリア内外の移転



業態変更



閉店・店舗統合



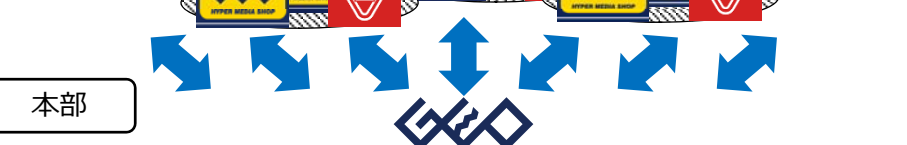
潜在ニーズの収集



新サービスの導入



均一サービスの提供

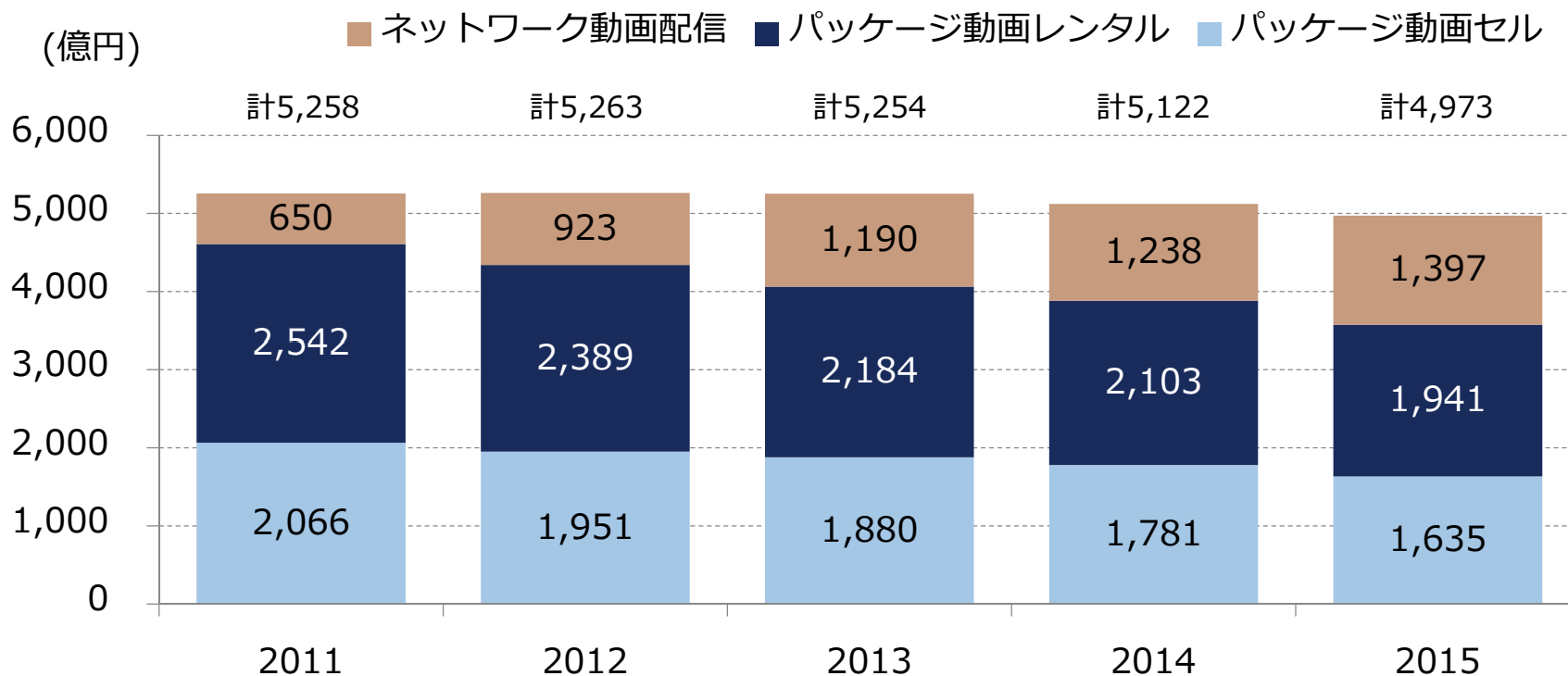


機動力のある店舗運営 1500店



主要ビジネス紹介 動画メディア市場

- パッケージ動画市場は緩やかに縮小傾向。
- 動画配信の拡大に寄与しているとされているスマートフォンは、映画視聴に不向きとされるため（視聴サイズ・バッテリー消費・データ通信制約）、パッケージ動画レンタルは一定のニーズがある。



出典：デジタルコンテンツ協会「デジタルコンテンツ白書2016」

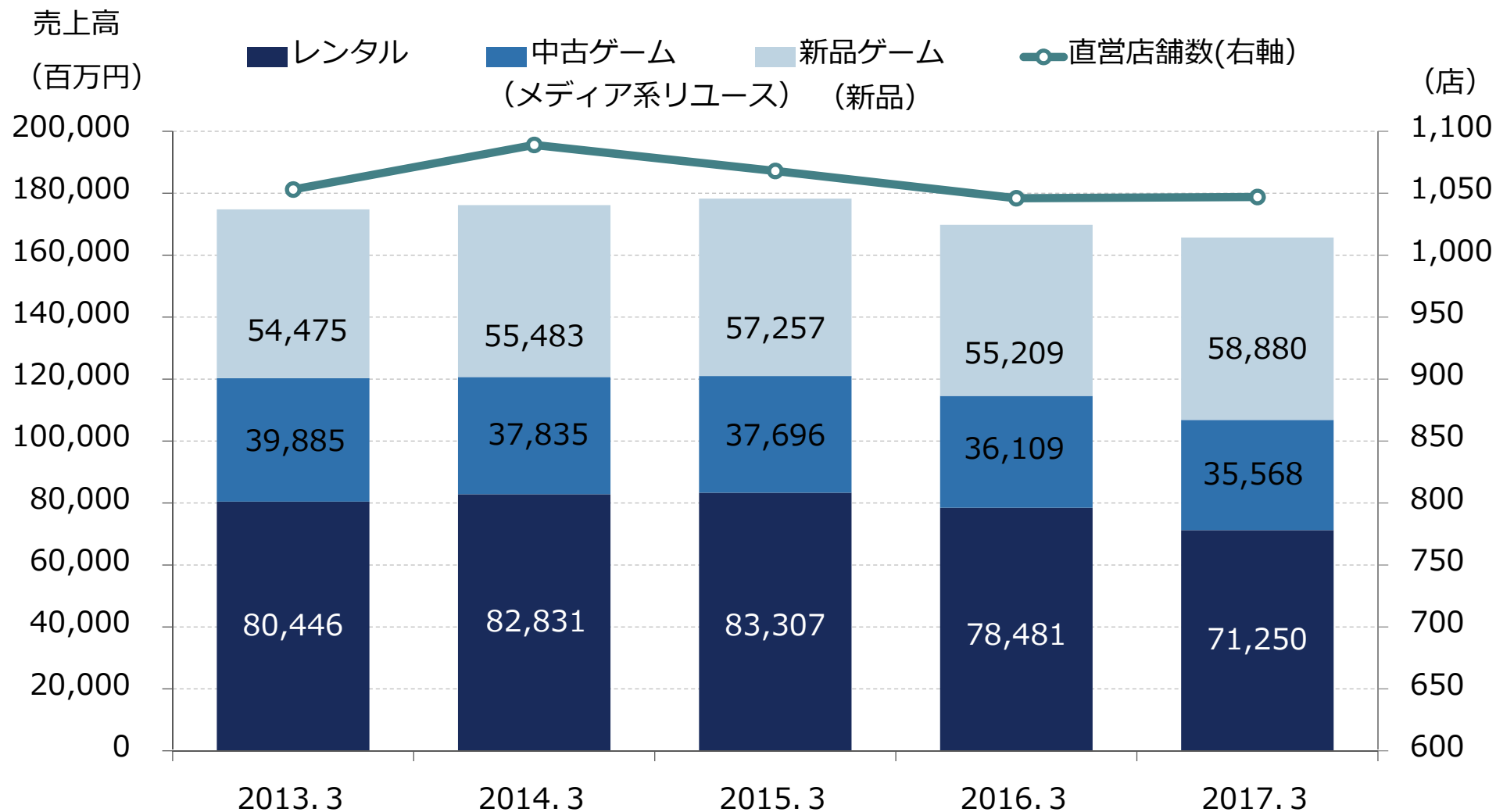


- 主要店舗
ゲオ
- 主要取引
レンタル、リユース（中古品買取販売）、
新品販売
- 事業形態
映像・音楽・コミック・ゲームの
エンタテインメントの多様な供給
- メディア事業売上高比率
72.0%（2017年3月期 通期）

主要ビジネス紹介 メディア事業



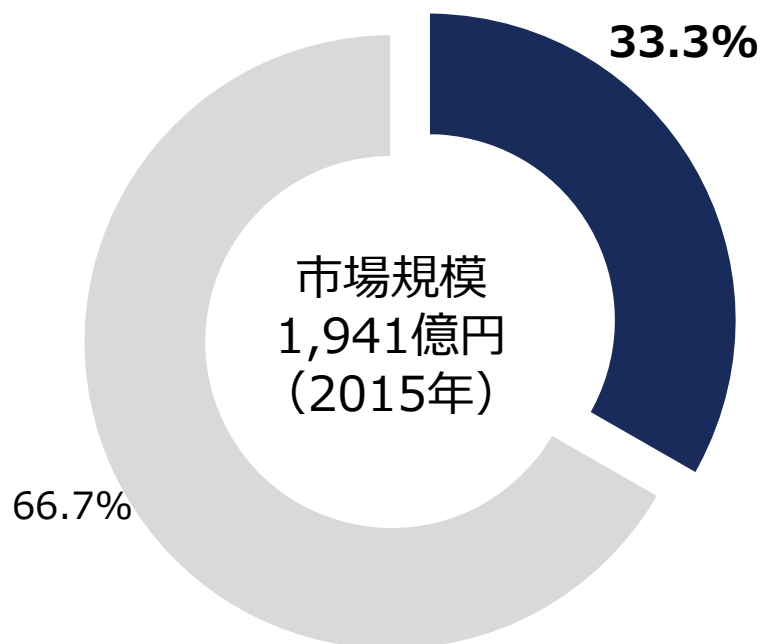
売上高・店舗の推移





パッケージ動画レンタル 市場シェア

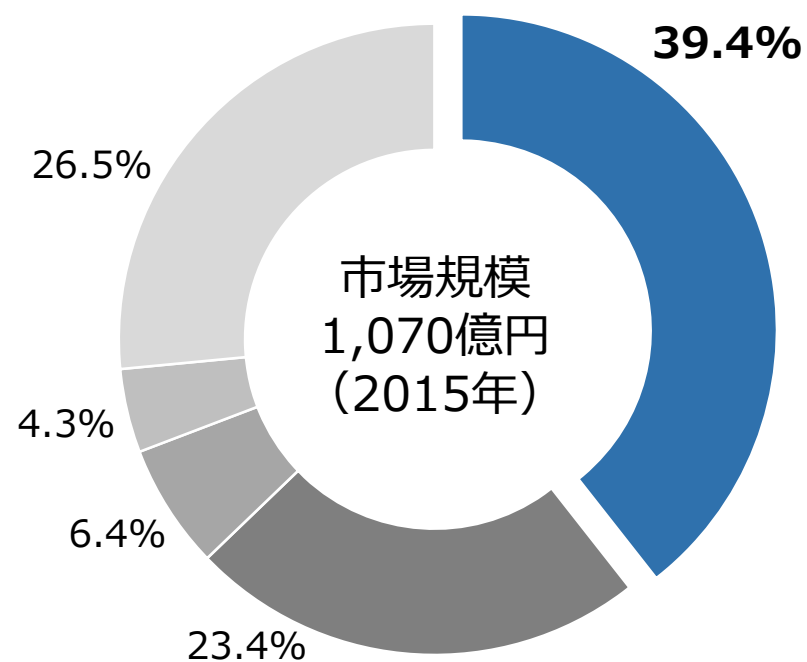
■ ゲオ ■ その他



参照：デジタルコンテンツ白書2016

リユース(メディア・ゲーム) 市場シェア

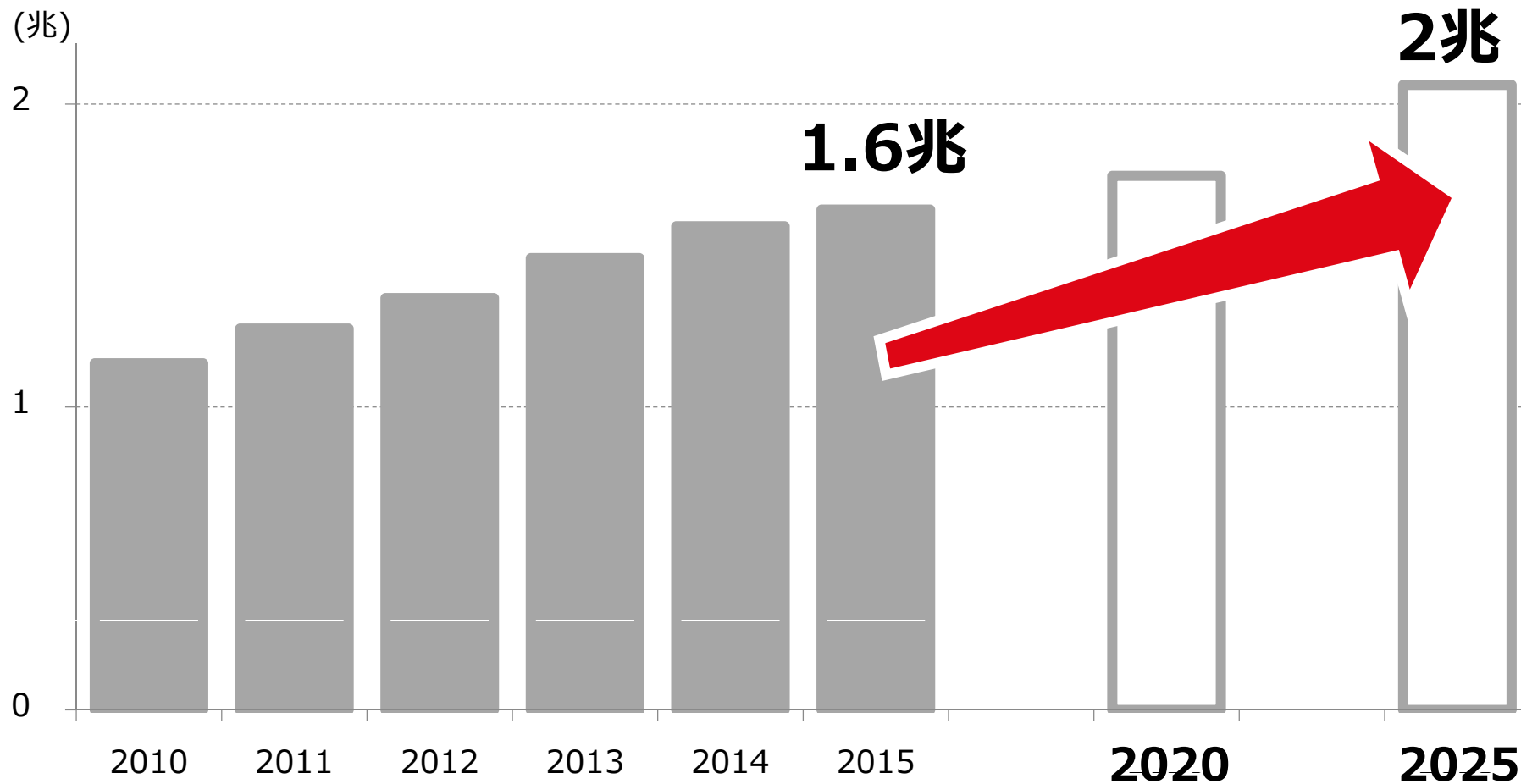
■ ゲオ ■ B社 ■ T社 ■ W社 ■ その他



リサイクル通信発行「中古市場データブック2017」

主要ビジネス紹介 リユース市場

- リユース市場は5年以上の連続拡大。
今後も拡大傾向で、2025年には2兆円規模に成長する見込。

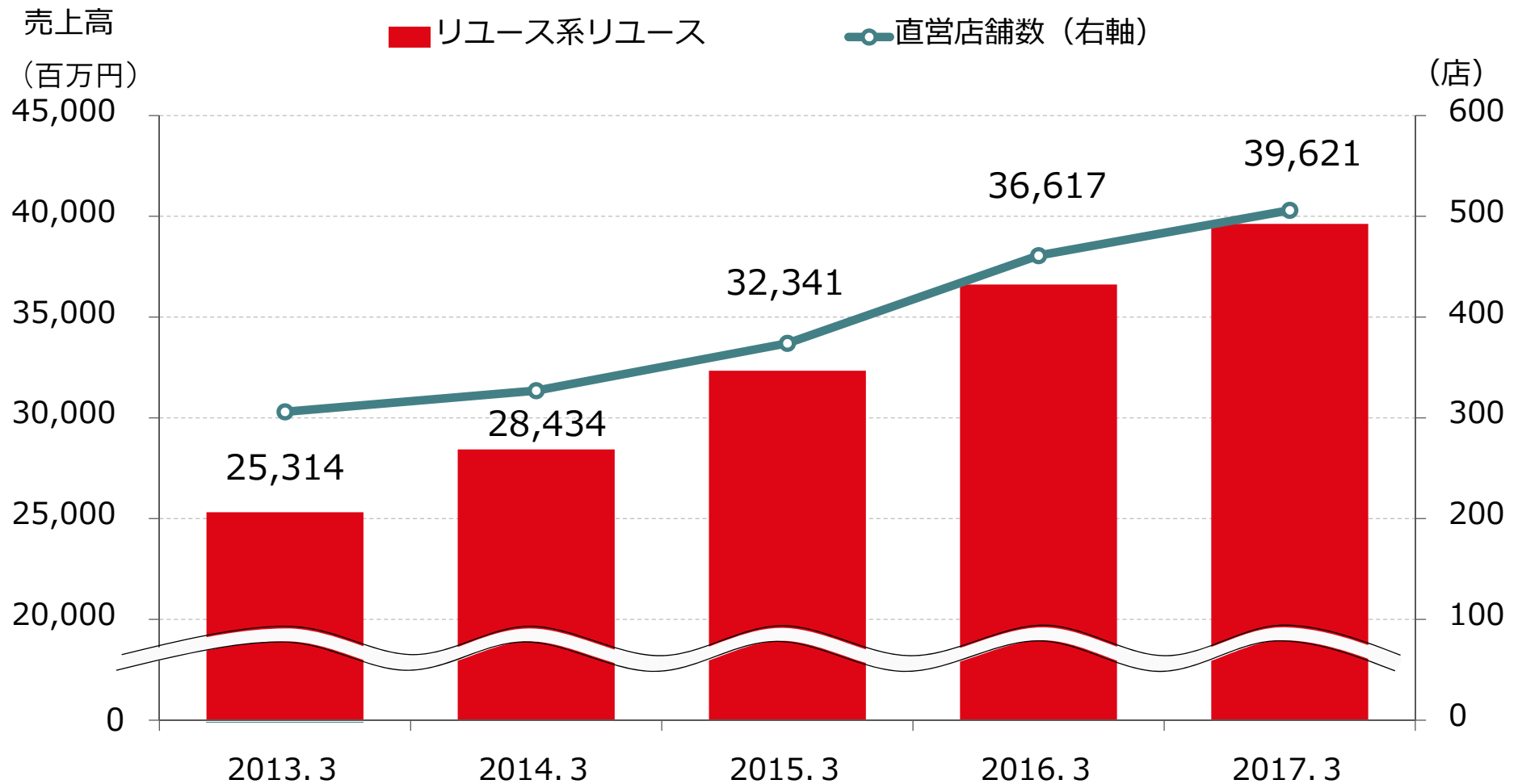


出典：リサイクル通信「中古市場データブック2017」



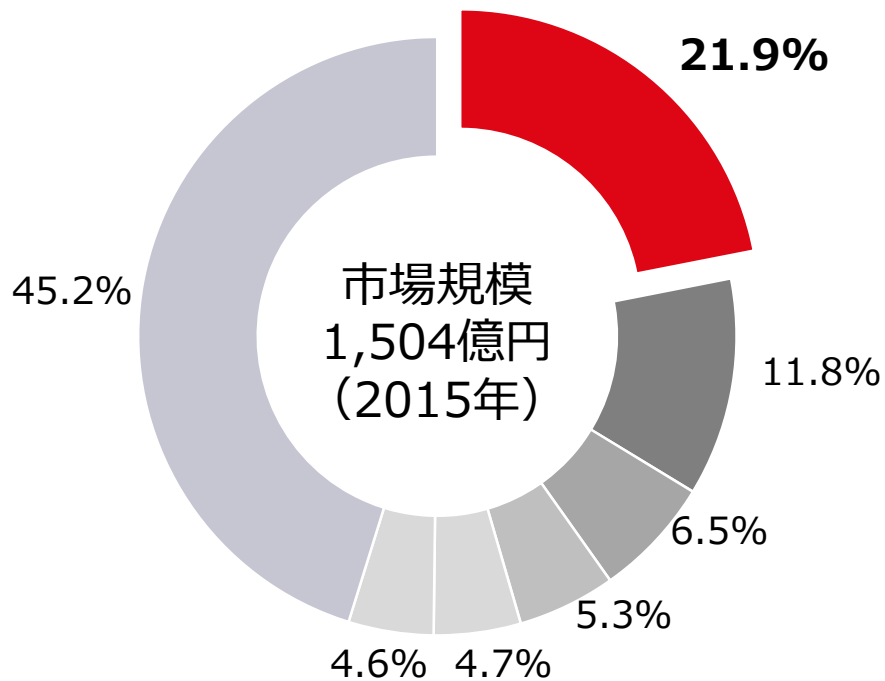
- 主要店舗
セカンドストリート、ジャンブルストア
- 主要取引
リユース（中古品買取販売）、新品販売
- 事業形態
衣料・服飾雑貨・家具・家電などの
総合リユース
- リユース事業売上高比率
16.9%（2017年3月期 通期）

売上高・店舗の推移



リユース(衣料・服飾雑貨) 市場シェア

- ゲオ
- H.O社
- B.O社
- C社
- T社
- B社
- その他



リサイクル通信発行「中古市場データブック2017」

- リユースビジネスは今後ますます成長が見込める分野であり、売上高・店舗を拡大し、700店舗体制を目標に展開。

市場成長率

中古流通市場の社会認知が高まり、使えるのに捨てるのは“もったいない”という環境保全意識が浸透し、リユース市場は継続的に拡大。

7.6%※1

売上高成長率

リユース品に対する需要拡大を受け、リユース事業は順調に推移。

11.8%※2

店舗成長率

全国500店舗以上を展開し、国内最大級。今後もさらに磨きをかけ拡大し、「リユース」の価値向上を目指す。

12.4%※3

※1：2010年から2015年における市場規模の年平均成長率（参照：リサイクル通信「中古市場データブック2017」）

※2：2013年から2017年における売上高の年平均成長率

※3：2013年から2017年における総店舗数の年平均成長率

- 商材別マニュアル、eラーニング、タブレットを活用し、スタッフの商材知識を向上させて、バイヤーの早期育成。

商材別マニュアル

商材別に査定方法・真贋チェックポイントなどのマニュアルを整備。

eラーニング

eラーニングやタブレットを活用して、スタッフの商材知識向上スピードの短縮化。

社内資格制度

社内資格制度としてバイヤーランクを設けて、スタッフのバイヤースキルを明確化。

将来の見通しに関する記述についての注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化などによる潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。

お問い合わせ先

愛知県名古屋市中区富士見町8番8号 OMCビル5F
株式会社ジオホールディングス 経営企画部

Tel.052-350-5711 Fax.052-350-5701
e-mail info@geonet.co.jp

